

## 肝炎ウイルス検査・エキノコックス症検査

平成 29 年 2 月 11・12 日にやまびこで肝炎ウイルス検査・エキノコックス症検査を行います。検査方法は、肝炎ウイルス検査、エキノコックス症検査どちらも血液検査です。平成 28 年 4 月 1 日時点で 40・45・50・55・60 歳の方は無料で受けることができます。詳しくは広報 12 月号折り込みチラシをご覧ください。申し込み期限が平成 29 年 1 月 12 日までとなっていますが、定員を満たしていない場合は、申し込み期限以降も申し込みを受け付けます。お気軽にやまびこ保健センター（☎ 83-2408）までお問い合わせください。



## ウイルス性肝炎とは？

肝炎とは、肝臓に炎症が起こり肝臓の細胞が壊される病気です。アルコールや食事が原因で発症することもあります。最も多いのはウイルスの感染が原因となって発症するウイルス性肝炎です。

### ◎知らない間に体をむしばむウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎は、自分でも知らないうちに感染し、自覚症状もほとんどないまま進行する 경우가多く、そのまま放置すると肝硬変や肝臓がんを発症する危険性が非常に高くなります。

自分が感染しているかどうかは、検査をしないとわかりません。今までに一度も検査を受けたことの無い方は、肝炎ウイルスの検査を受けましょう！

### ◎検査を受けた方がよい方は？

以下に当てはまる方は、特に肝炎にかかっている可能性が高いです。積極的に検査を受けましょう！

- 出生が昭和 60 年（1985 年）以前である。
- 注射の回し打ちの経験がある。
- 平成 4 年（1992 年）以前に手術や輸血を受けた。
- 入れ墨やピアスをしている。
- 健康診断で「肝機能」の数値が基準値を超えていた。

## エキノコックス症とは？

エキノコックス症とは、エキノコックスという寄生虫が肝臓に寄生し感染する病気であり、全国で北海道での発症率が最も高い感染症です。エキノコックスは主にキツネと野ネズミに寄生しており、直接触れたことがなくても、山菜や沢水がエキノコックスの卵に汚染され、それを人間が直接口にするこでの経口感染や、または飼い犬による二次感染の恐れもあるため注意が必要です。



### ■エキノコックス症にかかるとどうなるの？

人にエキノコックスが感染しても、すぐには自覚症状が現れず、数年から 10 数年の潜伏期を経て、お腹の上の部分が増えたり、不快感が現れます。しだいに肝機能障害に伴うだるさや黄疸（皮膚や粘膜が黄色に染まる）等の症状が現れ、放っておくと肺や脳に病巣が転移したり、命にかかわることもあります。

### ■検査を受けた方がよい方は？

北海道での生活が 5 年以上で検診を一度も受けたことがない方や 5 年以上検診を受けていない方、特に、キツネに触れたことのある方や、野ネズミを捕食したことがある犬の飼い主など、感染のおそれがある方は、積極的に検査を受けましょう。